

# 看取りの作法と家族・スタッフへのグリーフケア実践



## 復元納棺師 笹原留似子が実践指導

復元納棺師 笹原留似子氏 株式会社 桜 代表取締役

東日本大震災ではボランティアとして被災地に入り、生後10日の赤ちゃんから90歳を超える高齢者まで約300人を5カ月以上かけて見送るとともに遺族へのグリーフケアを行った。また、復元納棺を行う様子がNHKスペシャル『最期の笑顔～納棺師が描いた東日本大震災』で放映され、大きな反響を呼んだ。主な著書に『看護職・介護職が行うエンゼルケア・死化粧とグリーフケア』『新生児・小児のエンゼルケアとグリーフケア』（共に日総研出版）、『おもかげ復元師』『おもかげ復元師の震災絵日記』（ともにポプラ社）。

名古屋	19年 2月17日 (日)	日総研ビル
札幌	19年 4月21日 (日)	道特会館
東京	19年 5月11日 (土)	LMJ東京研修センター
仙台	19年 5月18日 (土)	ショーケー本館ビル

【講義時間】いずれも10:00～16:00

参加料 一般 19,000円 会員 16,000円  
 ※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。  
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数14人。

### プログラム

1. 看護・介護職が知っておくべき看取りの作法
2. 死後変化の理解と遺体に対するマナー
  - 死後変化の理解
  - 予測できる死後変化 目/体液/皮膚/鼻・口/筋肉/浮腫/出血
  - 遺体に対するマナー
3. 悲嘆に暮れる家族へのグリーフケア
  - 家族へグリーフケアを行う意義
  - 家族へのグリーフケアの留意点
  - 家族の気持ちに寄り添うとは
  - 前向きに生きていくことの第一歩としてのかかわり
  - 家族がスムーズにお別れができる環境づくり
4. 親を亡くした家族へのグリーフケア
  - ターミナル期のかかわり方
5. 子供を亡くした家族へのグリーフケア
  - 親を亡くした子に何ができるか
  - 強いショックを受けているケースのかかわり方
  - 子どもを亡くした親が抱える葛藤
  - ある程度死が予期できていた親
  - 突然死に遭遇した親
  - 流産・死産を経験した親
  - 父親、母親へのかかわり方
  - きょうだいを亡くした子ども
6. ショックを受けている看護・介護スタッフへのグリーフケア
  - 患者・利用者が亡くなった際のスタッフの心情
  - スタッフにグリーフケアを行う意義
  - 病院・施設でできるグリーフケアへの取り組み
7. 自らがバーンアウト(燃え尽き症候群)しないために

講師の著書 **新生児・小児のエンゼルケアとグリーフケア** DVDブック

限られた時間で生前の面影を蘇らせる専門的な手段を!

B5判 112頁 定価 4,445円+税

数多くの旅立ちに立ち会った復元納棺師が教える! 看護職・介護職が行うエンゼルケア・死化粧とグリーフケア

B5判 152頁 一部カラー 定価 2,667円+税

このセミナーの詳細はホームページで案内中! 日総研 13345 検索

Eメールで専門業務のニーズに応える「今、学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、毎週Eメールマガジンをお送りしています。

登録はこちら ▶ [www.nissoken.com/mm](http://www.nissoken.com/mm)

話題のセミナー最新情報 教材(雑誌)最新号・新企画の内容 最新刊・改訂・増刷・試読 単行本・試験対策商品

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> 看取りの作法と家族・スタッフへのグリーフケア実践[13345] ↓参加地区に✓印を [20] <input type="checkbox"/> 名古屋 2/17 [21] <input type="checkbox"/> 札幌 4/21 [22] <input type="checkbox"/> 東京 5/11 [23] <input type="checkbox"/> 仙台 5/18	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください ふりがな _____ 氏名 (受取確認者) _____ 生年月日 西暦 19 ____ 年 ____ 月 ____ 日	送付住所 TEL( ) _____ 〒 _____	施設宛請求書 必要・不要 送付先 自宅・勤務先
	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください お客様コード _____ 役職・部署 _____	勤務先名 _____	
	ご連絡をお送りします。メールアドレス _____		

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977 ★会員とは日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル  
 ※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**